

都市再生整備計画 事後評価シート
海野地区

平成27年3月

長野県東御市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	東御市		地区名	海野地区			面積	51ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	781.5百万円	国費率	0.424				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	海野バイパス新設事業、田中30号線整備事業、西海野歩道整備事業、田中・西海野線舗装整備事業、海野宿駐車場整備事業、海野宿看板整備事業、西海野街路灯整備事業、海野格子の家整備事業									
	当初計画から削除した事業		提案事業	海野宿東側排水路整備事業、海野宿西側排水路整備事業、西海野北側排水路整備事業、パンフレット制作事業									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	海野格子の家整備事業			重要文化財建造物等公開活用事業(文化庁補助事業)の活用に転換し、関連事業に位置付け			なし			
			提案事業	海野宿東側排水路整備事業			災害により市の単独費による整備を行ったため削除し、関連事業に位置付け			なし			
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
		変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値					
	指標1	住民の満足度	ポイント	1	H21年度	1.25	H26年度	—	1.49	○	あり なし	海野バイパスや西海野歩道、排水路等の整備が進められ、海野地域の生活環境が向上したことにより、住民満足度に増加が見られる。	—
	指標2	観光客数	人/年	232,400	H20年	232,400	H25年	221,500	208,400	×	あり なし	観光魅力の向上に向けた事業が進められてきた中で、海野宿への来訪や回遊を促す施設・仕組みが整備されていなかったことが、未達成の要因である。	平成28年8月
指標3	車両通行量	台/12h	2,135	H21年度	500	H26年度	—	2,075	△	あり なし	海野バイパスの整備により、海野宿内の車両通行量が減少した。	平成28年8月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値					
その他の数値指標1		観光施設整備に対する不満足度	%	53	H21年度	/		—	19	/	/	駐車場や看板の整備、パンフレットの制作等を通じて、海野宿への来訪者の受入体制が強化されたことにより、観光施設整備に対する不満足度が減少した。	—
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 海野宿看板整備事業等のまちなみ保存に向けた取り組みを進める中、海野宿資料館や「海野宿」なつかしの玩具展示館でトイレの無料開放を行ったことにより、観光客から好評を得ている。 海野宿内の空き家について、海野宿保存会を通じて空き家数の把握や活用に向けた調整等を進めてきたことで、空き家件数は減少傾向にある。 地元有志により、長野県の地域発元気づくり支援金を活用した「海野宿ひなまつり」の開催が行われた。 												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	「東御市の統計」によるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● ● ●		毎年度の「東御市の統計」により確認する。
	住民参加プロセス	海野地域まちづくり検討会議				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● ● ●		H26年度で海野地区都市再生整備計画事業が一段落するため、今後は必要に応じ、既存他団体なども含めた地域のまちづくり活動に対し支援を行う。
	持続的なまちづくり体制の構築	海野地域まちづくり検討会議の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● ● ●		H26年度で海野地区都市再生整備計画事業が一段落するため、今後は必要に応じ、既存他団体なども含めた地域のまちづくり活動に対し支援を行う。

様式2-2 地区の概要

海野地区(長野県東御市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	従前年度	目標値	目標年度	評価値	評価年度
歴史的なたたずまいを継承し、居住環境・観光施設の再整備による地区の活性化 ①安全で安心して暮らせる居住環境の整備 ②来訪者が宿場町を堪能できるまちづくり	住民の満足度	単位: ポイント	1	H21年度	1.25	H26年度	1.49	H26年度
	観光客数	単位: 人/年	232,400	H20年	232,400	H25年	208,400	H25年
	車両通行量	単位: 台/12h	2,135	H21年度	500	H26年度	2,075	H26年度
	観光施設整備に対する不満足度	単位: %	53	H21年度	—	—	19	H26年度

海野宿西側排水路整備事業

西海野北側排水路整備事業

西海野歩道整備事業

田中西海野線舗装整備事業

凡例
■ 基幹事業
□ 投資事業
○ 関連事業

1: 10,000

海野宿看板整備事業

西海野街路灯整備事業

まちの課題の変化

- ・海野バイパスの整備により、海野宿内の交通量が減少し、住民および観光客の安全性が向上した。
- ・排水路整備事業を通じて、大雨時等の排水機能が向上したことにより、生活環境が改善した。
- ・海野宿駐車場にトイレを整備したことにより、回遊時の利便性が向上した。
- ・看板整備を通じて海野宿の情報発信機能が強化された。
- ・海野宿駐車場の整備により、車利用の観光客の受入基盤が強化された。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・住民主体によるまちづくり活動への支援を通じて、ソフト面の取組みを強化する。
- ・ソフト面から海野宿のまちづくりを進めることと併せて、来訪者の回遊機能の強化を図ることで、観光客数の増加を図る。